

A

T

O

M

梅

島

だより

令和7年8月

進学個別 ATOM 梅島教室

TEL 03(3852)2080

FAX 03(5888)6110

E-mail:umejima@tokyogakuseikai.co.jp

御兄弟・御姉妹

入会キャンペーン実施中！

※特典がございます。ご遠慮なくご相談ください！

※先月はお二人が当制度をご利用のうえ、新規入会されました！

夏期講習進行中！

調子がよくなってきた生徒さん、のってきた生徒さん、もう一押し頑張りましょう！



© dak

R7年6月に実施された定期テストで高得点獲得または点数UPしたATOM生を一部掲載！

足立第九中 K さん 88 点 英語 頑張りました！	足立第九中 K さん 87 点 数学 頑張りました！	足立第九中 K さん 82 点 国語 頑張りました！	足立第九中 K さん 83 点 理科 頑張りました！	足立第九中 Y くん 89 点 英語 頑張りました！	都立農産高 T くん 91 点 化学基礎 頑張りました！
足立第九中 Y くん 86 点 数学 頑張りました！	足立第九中 Y くん 86 点 国語 頑張りました！	足立第九中 Y くん 89 点 社会 頑張りました！	足立第四中 T さん 99 点 英語 頑張りました！	足立第四中 T さん 85 点 数学 頑張りました！	足立第四中 T さん 86 点 国語 頑張りました！
足立第四中 T さん 80 点 社会 頑張りました！	足立第四中 A さん 21 点 UP 国語 頑張りました！	栗島中 M さん 33 点 UP 社会 頑張りました！	足立第七中 K くん 14 点 UP 数学 頑張りました！	足立第十中 T くん 83 点 英語 頑張りました！	足立第十中 T くん 87 点 数学 頑張りました！
足立第十中 T くん 89 点 理科 頑張りました！	足立第十中 T くん 83 点 社会 頑張りました！	足立第九中 K さん 26 点 UP 英語 頑張りました！	足立第九中 K さん 51 点 UP 数学 頑張りました！	足立第九中 K さん 24 点 UP 国語 頑張りました！	六月中 O くん 20 点 UP 数学 頑張りました！

クローズアップ！

- 足立第九中の生徒さんたち大躍進！高得点に大幅点数アップ！頼もしい限りです。本当に嬉しく思います！
- 足立第四中のTさん、英語99点獲得！100点でなかったことが悔やまれますが、彼女の成長を誇らしく感じます！

★コンテスト優等者発表★ みんなよく頑張ってくれました！

★7月12日実施分漢字コンテスト・英単語コンテスト★

【漢字コンテスト】足立第九中 K さん、足立第四中 T さん、梅島小 I さん、足立第九中 M さん、足立第七中 K くん、足立第九中 K さん、足立第十中 T くん、成城中 Y くん、六月中 K くん、栗島中 M さん、

【英単語コンテスト】足立第十中 T くん、足立第九中 K さん、成城中 Y くん、六月中 K くん、足立第四中 T さん、足立第七中 K くん、栗島中 M さん、足立第九中 M さん、足立第九中 K さん

～Information～

★【進研V模擬について】

公立中3生の生徒さんは、8/31日曜に3回目のテストがあります。多くの生徒さんがエントリーしてくれ、嬉しい限りです。今後も継続は力なり。都合がつかない場合を除いて、どんどんチャレンジして、しっかり復習しましょう。

★【首都圏模試について】

9月には合判模試が行われます。既にみなさん、会場受験には十分に慣れたと思います。大事なのは、自分の力を発揮すること。今後も落ち着いて参りましょう！

★【公立中3生受験対策について】

夏の基礎固めが終わり、事実上最後の定期テストを迎えます。内申点アップのため、最後の頑張りを見せましょう！

★【夏期講習について】

夏期講習は大詰めを迎えておりますが、残席がある日程は追加可能です。受験生にとって、この夏の期間が重要であることは疑いようのないことですが、非受験生もしっかりと目の前のことに注力しましょう。なお、まとまった回数ではなく、数回追加したいという生徒さんは、夏期講習という形に拘る必要はありません。通常授業の週回数を増やす、細目に追加授業を受けるといった、「日頃の姿勢」を意識してみましょう。

★【重政教室長との土曜日無料勉強会（原則毎週実施・予約制・時間応相談）】

※内容は個別にご相談に応じますのでお気軽にお申し出ください。

※例）V模擬で出来なかったポイントを整理に力を貸して欲しい（足立第九中）。

※例）追加授業でやった英検二次対策の最終チェックをして欲しい（足立第九中）

今月お勧めの本

「文豪、社長になる 門井慶喜（文春文庫）」

文藝春秋の創刊者にして、芥川賞・直木賞の創設者でもある菊池寛の人生を描いた小説なのですが・・・これが滅法面白かったんです！

まだ故郷高松に居た神童時代から始まり、プレブレの学業遍歴、不本意ながら勤めた通信社時代、芥川龍之介との「目頭が熱くなるような交流」…等々を経て、“あの”戦争時代を経験し、死に至るまでがドラマティックに展開され、ページを捲る手が止まりませんでした。

もちろん、小説ですので、史実ではない創作や想像による逸脱も多くあるのですが、それは当然の前提として読めば・・・歴史小説の類いは、「流れや空気感を掴みたい」「時代を追体験したい」という欲求を満たしてくれる立派な教材にもなり得るものだと思います。

いきなり新書あたりに手を伸ばしても、最近は専門書張りの難解なものも多く、「全然入門じゃなくて読めない！」と感じる若人の皆さん、まずはエンタメでどうですか？

